

学校だより

12月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和二年十一月三十日

新しい生活様式の中での新しい学校生活

みんなが幸せに暮らせるように

校長 吉野 達雄

先日、すべての学年の体育学習発表会が無事に終了しました。例年と違っての学年ごとの発表会では、盛り上がりやや欠けるのも仕方ないと思っていました。しかし、保護者の皆様からは観客が少ないところで子供の活躍をしっかり見ることができた。短時間で集中してやるのができた。来年度からはこのようなやり方でもいいのではないかなどと前向きな意見をいただいています。また、十一月二十八日からは学年ごとの学習発表会を行っています。活躍している子供たちを直接見ていただきたいのですが、感染症対策から、動画での発表会になりました。このような発表会の工夫も新しい学校生活のひとつと考え、今後はさらにより方法を探っていきたいと思います。

新しい生活様式と言われている今、社会問題になっているひとつにコロナを起因とするいじめがあります。学校だよりの十月号にも書かせていただきましたが、これはまさに人権問題であり、あつてはならないことです。新しい生活様式、新しい学校生活をよりよいものにできるかどうかは私たちの考え方、もののとらえ方によるのです。

【令和二年十二月四日から十日まで人権週間】

国際連合は、一九四八年に世界人権宣言を採択し、十一月十日を「人権デー」と定めました。また、我が国においては、法務省と全国人権擁護委員連合会が「人権週間」を定め、世界人権宣言の趣旨及びその重要性と人権尊重思想の普及高揚に努めてきました。

【人権についてまず私たち大人が考えてみましょう】

人権とは、「人が生まれながらに持っている人間としての権利」で、人間が「かけがえない個人として尊重され、平等にあつかわれ、自らの意思に従って自由に生きる」ために必要不可欠な権利です。

人権について、まずは私たち大人が考え振り返るとともに、ぜひ、家庭で話し合ってください。気が付かないうちに人権侵害をしていませんか？

- ・ SNSで人の批判、悪口、不確かな噂話をしていませんか。
- ・ SNSに他人の個人情報や写真等を載せていませんか。
- ・ 国籍や職業、学歴、障害などで人を判断していませんか。
- ・ しつけ・教育の名のもとに体罰を行っていませんか。
- ・ 子供たちに過度の要求を強いていませんか。

子供は間違えることもあります。大人の思い通りに成長しないこともあります。子供をよく見ため、成長度合いを理解し、一人一人に寄り添った支援をしていきたいです。これが子供たちの幸せを願うことであり、人権尊重だと思えます。



タブレットを活用した教育活動の充実について

ICT担当 新村 哲

港区教育委員会は、文部科学省GIGAスクール構想の推進に向けて、一人一台のタブレット導入を決定しました。本校においても、十一月から発達段階に応じたタブレット活用を随時、進めております。まだ導入して1カ月程度ですが、タブレットを活用した様々な授業が行われています。例えば、「インターネットを使った情報収集、プレゼンテーションアプリを使って学習したことをまとめて発表する活動、撮影機能を使って植物や生き物の様子を記録して比べる活動、撮影機能を使って体育での良いプレーを紹介・共有する活動、クラブ活動で簡単なプログラミングの体験」というものです。児童はあつという間に操作に慣れ、学習の中でタブレットを文房具の一つとして使っています。

また、今後は学校内のネットワーク環境だけでなく、校外学習や各家庭においても活用できるようにしていきます。今月からは、適宜、タブレットを自宅に持ち帰り、連絡帳の代わりとして使ったり、宿題をしたりする予定です。学年によって実施内容は異なりますが、少しずつその活用の幅を広げていきたいと思えます。

学校では、タブレット等を安全に使うために、情報モラルについての指導を行いました。とても便利なアイテムですが、使い方によっては大きな危険を伴います。この機会に、ご家庭でもPCやタブレット、スマートフォンなどの情報端末の扱い方、情報の大切さなどについてお話しいただき、子供たちが安全かつ快適にこれらのアイテムが使えるようにしていただければと思います。

